

今月の1冊から 2017年7月～9月



7月『ペンギンのヒナ』

ベティ テイサム//作 ヘレン K.デイヴィー//絵 はんざわ のりこ//訳 福音館書店

なんきょくにいるコウテイペンギンはどのようにこどもをそだてるのかしていますか？なんきょくたいりくはこおりにおおわれているため、えだやはっぱ、くさやどろなど、すをつくるためのものがなにもありません。そのため、コウテイペンギンのおとうさんはあしのうえにある“ほうらんのう”でたまごをあたため、ひなをかえすのです。たまごをうんだおかあさんは、うまれてくるヒナのためにうみへたべものをとりにいきます。おかあさんがかえってくると、こんどはおとうさんがうみへいきます。このように、こうたいでヒナをそだてています。このほんをみると、こおりにおおわれ、はげしいふぶきがふきつけるなんきょくたいりくでいきているペンギンについて、することができますよ。



8月『タケノコごはん』

大島 渚//文 伊藤 秀男//絵 ポプラ社



パパが小学生だったころのはなしです。そのころ戦争がありました。子どもたちは、はやくおとなになり兵隊になるんだとおしえられ、ゲームやあそびも戦争にかんけいすることばかり。クラスでいちばんケンカがつよいのはさかいくん。ケンカはつよいけど、よわいものいじめはせず、パパもなんとかたすけてもらっていました。しかし、さかいくんのおとうさんが戦争で亡くなってから、さかいくんはときどきよわいものいじめをするようになってしまいます。六年生になったある日、担任の先生が兵隊になって戦争に行くことになりました。パパはさかいくんたちと先生のおうちへ行きます。タケノコごはんをおなかいっぱい食べたべました。戦争へ行く先生を前に、みんなはなかなか言葉がでてこないのです・・・実際に戦争を体験した子どもの目線がかかれています。戦争はいつようなのでしょうか。平和を考えるきっかけにしてもらいたい1冊です。



9月『おなかのすいた ばったのトト』

とくだ ゆきひさ//さく 福音館書店



おなかのすいたとのさまばったのトト。だいすきなえのころぐさをたべようとしたとき、おおきなかまきりがあらわれてびっくり！トトはあわててとんでにげたので、ますますおなかのすいてしまいました。だいすきなえのころぐさをさがしていると、「チルリ チルリ」とはなのみつをのんでいるちょうちょさんや、「カリリ ポルル」ときのかわをたべているかみきりむしさんたちにであいました。みんながおいしそうにたべているので、トトはがまんできないくらいおなかのすいてしまいました。トトはがんばって、さらにとおくへとんでいきました。するとそのとき、「サクサク パリパリ」というおとがきこえてきて…。トトはだいすきなえのころぐさをたべることができるのでしょうか？みんな、トトをおうえんしてね！